
ゼロと破滅の女王

セツラ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ゼロと破滅の女王

【Nコード】

N5638Y

【作者名】

セツラ

【あらすじ】

我々の住んでいるこの世界とは違う世界、異世界ハルケギニア。この魔法と貴族絶対主義の世界で、貴族でありながら魔法が使えず「ゼロ」と蔑まれている少女ルイズ。彼女が使い魔として呼び出したのは、地球において最強にして最悪の力を持つ吸血鬼の女王だった・・・。

序章（前書き）

初投稿作品です。基本的には原作に沿って話は進みますが、改編等などがありますのでご了承ください。また主人公が最強という設定なので、そういった話が苦手な方は、ご注意ください。

序章

ここは、地球の北欧にあるとある国、物語の舞台はここから幕を上げる。

「ハア・ハア・ハア・ハア」

夜のスラム街を一人の男が必死の形相で、走り続けている。

「ちくしょう・・・！なんで俺がこんな目に・・・！なんであんなバケモノに襲われなきゃなんなんだ！！！」

男は今にも泣き出しそうな声で、叫んでいた。

走り続けるうち、男はスラム街にある廃屋に逃げ込んだ。男は扉を閉め、扉に向かって銀の銃弾の入った拳銃の銃身を向けた。

「来るならきやがれ！！その扉を開けた瞬間蜂の巣にしてやる！！バケモノめ！！」

しかし何も反応は無い、男が助かったと思い銃身を下げた時、足音が聞こえてきた。

少しずつ足音は、近くなりついに扉の前で止まった。

「き・来やがったか！！」

男が震えながら銃身を扉に向けると、扉がゆっくりと開き、そこから入ってきたのは、メイド服に身を包んだ青い髪でショートカットの美しい女だった。

「ここにおられましたか、マクレガー様」

女はにっこりと微笑むと、マクレガーと呼ばれた男にゆっくりと歩いてゆく。

「来るんじゃないえ！！コイツには、手前らバケモンの弱点の銀で作った銃弾が入ってる！！それ以上近寄るとこいつをぶち込むぞ！！」マクレガーがそう叫ぶと女は口てを当てクスクスと笑い始めた。

「なにがおかしい！！」

「どうぞ、好きなように・・私は仕事を済ませるだけですから」そう言うと女はマクレガーにゆっくり向かって歩いてゆく。

「馬鹿にしゃがって!!!! 死ね!!!」

部屋に3発の銃声が響き銃弾は女の額と胸に命中する。

「どうだ!!! 銀の銃弾を急所に食らった感想はよ!!!」

そう叫んだ次の瞬間、マクレガーの顔は恐怖に引きつった。

なんと女は何事も無かったかの用にこちらに進んでくるのだ。そして、銃弾が命中した箇所はみると傷が塞がってゆくではないか。

「ひい・・・! なんで死なねんだ!!! いくらバケモノだってこいつが急所に当たりや死ぬだろ!!!」

マクレガーは狂ったように、銃を乱射するが、女はすべて当たりながらも、何事も無かったかの用に前進しマクレガーの前に来るとマクレガーの腕を掴んだ。

「放せ・・・!! このバケ・・・ぎゃあああああああ」

女はマクレガーの腕をなんと、文字通り「引き抜いた」のだ。

そして片腕を無くしのうち回るマクレガーの胸を踏みつけ、仰向けにさせると、なんと女の口から先ほどマクレガーに打ち込まれた銃弾が出てきたのだ。

女は銃弾は吐き捨てると、マクレガーに言い放った

「こんなものが通用するのは中級までの吸血鬼ぐらいですよ」

そう言うと女は、マクレガーの千切れた片手にかぶりつくと、手は一瞬で干からびてしまった。そう彼女は吸血鬼だったのだ。

「ひい・・・たす・・・たすけて・・・!!」

「駄目ですよ・・・。貴方がたは、私の獲物を殺してしまったじゃないですか・・・。その罰を受けてもらわないと・・・」

そう言うと女は胸を踏みつけていた足を持ち上げると同時にマクレガーの顔に振り落とした。

マクレガーは絶命し、もの言わぬ肉片と化した。

「ふう・・・身の程をわきまえずに人のものに手をだすからです」

女は終始笑顔をくずさぬまま、その場を去ろうとしたその時目の前に突然鏡のようなものが現れた。

「おや・・・? これは・・・ゲートですか?」

そして、鏡の向こうから声が聞こえる

「お願い・・・私の呼びかけに答えて・・・!!」

「ふむ・・・見た所これは異世界へのゲートですね・・・」

「クスクス・・・いい加減この世界も飽きてきてましたからね・・・異世界に行くのもいいかもしれないですね!」

そう言うとき女は鏡に飛び込んだ。

その瞬間女の姿は鏡と共にこの地球から姿を消した。

召喚した少女は知らない。

自分が召喚した存在が地球において最強最悪と呼ばれ、核兵器などをもってしても倒せず、たった一人で一国をと滅ぼしてしまう、ほどの力を持つ存在である事を。

その者は全ての存在の天敵である事を。

その存在を知る者たちは、その存在をこう呼んだ。

『破滅の女王』と。

そしてその『破滅の女王』の名はセラナIIアーカードといった・・・。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5638y/>

ゼロと破滅の女王

2011年11月17日16時18分発行